

おだがいさま

odagaisama

103号
令和4年
12月1日発行

遊具
工作
ボールゲーム
読書
パソコンスペース

小堅コミュニティセンターに
地元の方々の思いが詰まった みんなの遊び場
「小堅ランド」が出来ました。

まちづくりはここから！地域支え合いプラン

「地域支え合いプラン」をもとに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域づくりのため、各地域で様々な取組が行われています。今回は田川地区、三瀬地区、由良地区、西郷地区での取組の内容をご紹介します。

田川地区

地区の特徴 旧鶴岡市の南方に位置する。県指定文化財である「田川太郎の墓」をはじめとした複数の遺跡が残る。
人口 751人 世帯数 255世帯
(令和4年3月現在)

プラン① 会食交流会の拡大・拡充

- ・参加者を増やすために、囲碁・将棋等を取り入れるなど、会食前後の時間の有効活用を図る
- ・継続して、民生児童委員から新規参加者を募ってもらう など

プラン② 健康長寿と仲間づくり

- ・コミセンや遊歩道、農村公園等を活用し、人との交流を増やし、元気で健康なからだ仲間づくりを促進する など

会食交流会の参加者増加へ

昭和六十二年から高齢者を対象に会食交流会を実施しています。この会では、地区担当保健師や地域包括支援センターつくし、湯田川交番等からの講話を聴いたり、田川保育園の園児を招いて交流したりと、食事をするだけでなく地域の交流の場にもなっています。

会場のコミセンへ行くことが難しく参加できない方がいることや、男性の参加者が少ないことから、送迎方法の検討や男性からも楽しんでもらえるような工夫をしながら進めています。また、現在は新型コロナウイルス感染症対策のため市販の弁当を提供していますが、会食サポーターの手作りの料理が提供できるような検討し会食交流会をさらに充実させていくこととしています。

元気なからだをめざして百歳体操の拡大

田川コミセンを会場に毎週一回、介護予防を目的とした百歳体操を行っています。その中で、各住民会でも実施できないか相談があったことをきっかけに、二つの住民会でも百歳体操が始まりました。体操に加えて脳トレや川柳、ウォーキングなど参加者が楽しめるような企画があり、元気なからだづくりと共に参加者同士の交流を深める場、情報交換の場にもなっています。

コロナ禍の中で、実施が難しいこともありますが、体操の場を通じて地域のつながりができ、住民が明るく元気な地域となるよう活動を続けています。



百歳体操で元気なからだづくり



地区担当保健師からの講話

三瀬地区

地区の特徴 西側を日本海に面し、他三方は山に囲まれた地形。地域内の平野部を3本の川が流れているため「三瀬」という地名であると伝えられる。
人口 1,241人 世帯数 487世帯
(令和4年3月現在)

プラン① みんなで元気を生み出し発信するまち三瀬

- ・歩こう会、百歳体操への呼びかけ、貯筋1,000歩
- ・健康診断受診率100%を目指す

プラン② みんなでつくる安心のまち三瀬

- ・おだがいさま見守りネットの活用
- ・安心見守りカードの周知、更新
- ・消防団と連携した避難・見守りシステムの確立 など

プラン③ みんなで支え合う住みよいまち三瀬

- ・隣組長、民生委員、地元商店や関係機関と連携を図り、地域ぐるみで見守り支援を行う
- ・買い物などの生活課題を解決する仕組みづくりや情報の発信を行う など

おだがいさま見守りネットの活用

おだがいさま見守りネット活動は、住民はもちろんのこと隣組長、消防団などの住民自治組織、地区内の商店や金融機関などが地域を見守るネットワーク活動です。この活動は、地域内で認知症高齢者が行方不明になる、一人暮らし高齢者が孤独死の状態で見えなくなるなどの見過ごせない出来事がきっかけとなり、平成二十七年より始まりました。

活動を行う中で、異変に気付いてもどこに伝えたらいいかわからないという声もあったため、普段の暮らしの中で異変に気付く、さらにその異変を適切な機関につなげることができるようにパンフレットを作成し、全戸配布しました。これにより、「気になっていた人に声をかけるきっかけができた」、「何かあったときの相談先がわかって安心感が増した」という声が聞かれました。また年に一度、活動報告会を行い、事例報告や活動の中で困ったこと、その対応などについて話し合っています。

これからも、おだがいさま見守りネット活動を活かし、お互いが自然に見守る・見守られる、安心のまちづくりを進めていくこととしています。



おだがいさまネット会議での情報交換の様子

由良地区

地区の特徴 日本海に面し、沖に浮かぶ白山島を要に扇状に形成された地域。由良海岸、奇岩八乙女浦と恵まれた自然景観を有する。
人口 931人 世帯数 371世帯
(令和4年3月現在)

フラッシュ① 誰もが安心して暮らせる ゆら

- ・安心見守りカードの設置・周知
- ・隣組福祉員への活動の周知・研修会の開催等
- ・災害時に支援を必要とする人への対応の検討 など

フラッシュ② 人と人がつながる ゆら

- ・サロンへの新たな参加者を募ることができるような取組を考える
- ・誰でも行き来できる場をつくり、多世代が興味を持てるような教室や講座を開催する
- ・中学生ボランティアの活躍の場をつくる

福祉協力員の研修会を行いました

隣組ごとに一名選出される福祉協力員は、地域の中で一人暮らし高齢者等の支援が必要な方への声かけ、見守り活動を担っています。福祉協力員としての役割意識を高めるため、研修会を毎年実施しています。

今年度は、福祉協力員の活動内容の確認や安心見守りカードの取り扱いについて研修を行いました。また、活動する上で役立つ講座「鶴岡市こころの元気アップセミナー」を受講し、こころの健康について学びを深めました。今後は、地域福祉活動に関連する施設の視察研修も検討しています。

福祉協力員の活動の充実を図るとともに、地域住民が安心・安全に生活を送れるよう互いに見守り、支え合う地域づくりを推進しています。

会食で楽しく、元気で笑顔に

地域の高齢者を対象に、毎年、会食交流会を実施しています。地域の方が調理する会食のメニューは栄養バランスがよく、おいしいと大変好評です。昨年十二月には、クリスマス会食と題し、保育園児による歌やハンドベルの演奏が披露されました。参加した方からは「次回もまた来たい」「ハンドベルの演奏が上手でした」等の声が聞かれ、園児たちとの交流を通して皆さんが笑顔になる楽しい会食会となりました。

今後も地域性やコロナの感染状況をふまえながら事業を行い、住民同士が交流できる場を提供していきます。



クリスマス会食会の様子

西郷地区

地区の特徴 砂丘地農業が盛んで水稻やメロンの栽培に従事している世帯が多い。農業を通じてのコミュニティも形成されている。
人口 2,908人 世帯数 992世帯
(令和4年3月現在)

フラッシュ① 会食交流会・配食サービスの充実

- ・会食交流会、配食サービスの充実を図り、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の引きこもり防止や交流を展開する
- ・参加者を増やすため、対象者の拡大や周知方法について検討する

フラッシュ② 西郷安心カードの周知・拡大

- ・年に一度、西郷安心カードの記載内容の確認を実施する
- ・確認を行う中で、登録者からの相談があったり心配事を感じる方がいた場合は相談機関につなげる

地域とのつながり・交流を広げたい

農繁期が落ち着いた時期（十一月と一月）、七五歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、会食交流会・配食サービスが行われています。食生活改善推進員や保健福祉委員、婦人会、民生児童委員の方が、身体によいものを温かいうちに食べていただきたいという思いで手作りの料理を提供しています。開始から二十年続くこの事業は、現在では三十名ほどの方がサービスを楽しみにされています。

今はコロナ禍にあり、集っての会食交流は叶いませんが、配食サービスを続けていけるよう検討しています。



地域の方による調理の様子

声かけや見守りの輪を広げたい

住民会区長や民生児童委員などの協力のもと、西郷安心カードの記載内容の更新、設置場所の確認を行っています。現在は約百二十名の登録があり、訪問活動を行う中でお互いに顔の見える関係を築き、不安や心配を感じる方がいた場合には相談機関につないでいます。西郷地区では、安心カード登録時にマグネット式フックがついたファイルと一緒に配布し、冷蔵庫に貼ってもらうことで緊急時の対応が円滑になるようにしています。

日頃からの見守りと安心カード設置による緊急時への備えにより、誰もが安心して生活できる地域づくりへつながっています。



緊急時に備えて西郷安心カード

地域の交流の場を目指して!



小堅地区自治振興会では、人口減少や少子高齢化、コミュニティの希薄化など地域の様子が変化している中で、「小堅地区地域ビジョン」(令和3年10月)を策定し、将来を見据えた地域づくりの取組みをスタートしました。ビジョンの一つとして、子ども達が遊び、子育て世代が集い、交流する場を目指した「小堅ランド」をコミュニティセンター内に創り上げ、地域の活性化、地域づくりを進めています。



元気に体を動かして遊べる
キッズスペース

「小堅ランド」の利用に関するお問い合わせ先 小堅コミュニティセンター ☎ 0235-73-2243

情報掲示板



年末にお困りの方に食品を提供します



鶴岡地区特養連絡協議会の9つの社会福祉法人で構成する「鶴岡市社会福祉法人連携における公益的な取組にかかる連絡会」の取組として、年末にかけて支援が必要な方に向けたフードドライブを実施します。

食事面でお困りの方に食品(主にカップラーメン、乾麺、レトルト、缶詰など)を提供しますので、ご希望の方は提供期間内に鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課または各地域福祉センターまでご連絡ください。

●提供期間 令和4年12月19日(月)～27日(火)

午前9時～午後5時

●提供場所 鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課、各地域福祉センター

※食品の準備のため、事前にお電話でご連絡くださいますようお願いいたします。

連絡先電話番号は本ページ下段をご覧ください。

【鶴岡地区特養連絡協議会の9法人】

・思恩会・恵泉会・柳引福寿会・羽黒百寿会・あつみ福祉会・一幸会・朝日ぶなの木会・ふじの里・鶴岡市社会福祉協議会

※今回の「フードドライブ」は、参加法人職員の家庭から食品を持ち寄り、様々な事情で生活にお困りの方に役立てていただく支援活動です。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます

(令和4年9月1日から令和4年10月31日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎羽黒福祉センターへ

・匿名様 乾麺 1箱

★鶴岡福祉センターへ

・五十嵐 實様 武者風 7枚

・匿名様 絵画 1点

★鶴岡福祉センターへ(子どもたちの育成事業へ)

・ボランティアグループつるの会様 81,573円

★温海福祉センターへ

・イトー農場様 玄米 30kg 8袋

★鶴岡市高齢者福祉センターおおやまへ

・加藤 裕美子様 手作りぬいぐるみ 11体

★老人デイサービスセンターおおやま、

短期入所センターおおやまへ

・今村 まさ子様 100,000円

★くしびき東部保育園へ

・澁谷 直樹様 新米(雪若丸) 103kg

★児童福祉事業所へ

(中央児童館、鶴岡西部児童館、陽光児童館へ)

・五十嵐 實様 武者風 6枚

★児童福祉事業所へ

(中央児童館、大山児童館、鶴岡西部児童館、

鶴岡南部児童館、陽光児童館へ)

・麵屋 いたがき様 玩具 84個

★第四学区学童保育所へ

・明治安田生命保険相互会社山形支社荘内北営業所様

食品 35袋、タオル 13枚

★フードバンクへ

・鶴岡市信用金庫様 アルファ米 1,000袋

・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング㈱

山形テクノロジーセンター 燐活動様

食料品 127点

・佐藤 金二様 玄米 30kg

・つるおか森の時間様 アルファ米 3袋

・末日聖徒イエス・キリスト教会様

食料品 54点

おだがいさま

第103号

令和4年12月1日発行

発行部数 47,800部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号(にこふる2階)

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <https://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

柳引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114



この広報誌は、赤い羽根共同募金配分金と社協会費を財源に発行しています。